



東京学芸大学学校図書館運営専門委員会

1. 学校図書館運営専門委員会

2007 年発足

○学内の附属学校の学校図書館の情報交換→充実

○従来(戦後の「学校図書館の手引き」から施行錯誤)から司書のいる世田谷地区。

司書配置 2003 年・2004 年に進む。

2007 年、2009 年で 8 附属学校に。

○附属学校運営部と(大学)附属図書館と附属学校の学校図書館関係者による組織。文科省の PJ を受けることで、非常勤司書の公的な活動が可能になった。

教員養成大学附属学校図書館の使命

目指す子どもの力

思考力・判断力・表現力 読解力・情報活用能力

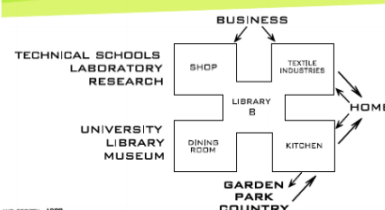
教える教師の授業の広がり

現職者・次世代にみせる 学校図書館モデルの構築

教師のための  司書のための

図書館活用事例の蓄積 授業づくりのレファレンス事例集

教科の壁を超える
ハイブリッドな学び



デューイ 学校概念図
『学校と社会』より

【主体的、自発的な自立した学習者を育てる→21 世紀型能力】

2. 「先生のための授業に役立つ学校図書館活用 DB」2009 年 12 月 16 日開設

大学図書館と共にある強み。データベースのなんたるかを導いてもらった。
卒業生である、教材の扱いに強いシステム会社「風夢」さんとの幸運な出会い。
主な担い手は附属学校の非常勤の司書 8 名。内を耕しつつ、外をつなぐ。

(司書配置は 2009 年に全校配置完了。特別支援学校には年数回派遣。)

誰でも参加可能な〈ウェブの広場〉。大学の講義、資格養成講習にも教材として使われている。



☆基本コンテンツ —生きてはたらく学校図書館像—

学校図書館が関わった【授業実践】＝【ブックリスト】＋【学習指導案】＆【日常の活用】

**学校図書館は
新たな授業づくりを
応援します。**

このサイトは文部科学省のプロジェクトとしてスタートしました。学校図書館を活用した授業実践をデータベース化しています。公開されている指導案、ワークシート、ブックリストを新たな授業にお役立ていただければ幸いです。

今月の
学校図書館

先生に
インタビュー

- 授業と学校図書館

使いこなす
情報のチカラ

- 情報リテラシー教育

本の魅力を伝える
おれこれ

- 学校図書館の日常

使える
ブックリスト

- テーマ別ブックリスト

授業事例を
大募集!!

資料アラカルト

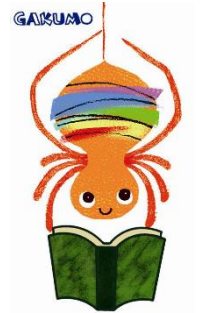
GAKUMO のひみつ

リンクフリー

- * 今月の学校図書館
- * 図書館を授業で使う教員インタビュー
- * 読書含む情報リテラシー記事
- * 学校図書館の日常は毎月更新
- * ピック、よみきかせ、ブックトーク、おすすめ本、展示、クイックレファレンス
- * ブックリストはエクセルで、二次利用可
- * 事例応募 随時受付中
- * 資料アラカルト 各学校の年間計画、提案資料、ワークシートなど
- * GAKUMO のひみつには、展示掲示などの工夫アイディア

3. 運営からみえてきたこと —図書館を活用した授業実践とは何か?—
—実践事例—

- ・ 資料を活用する
この1冊に出会うための多様な資料 (A0043)
教員のねらいにぴったりの1冊 (A0060)
課題を解決するために視点が違い、難易度も違う複数の資料 (A0005)
- ・ 図書館という場を活用する
読むにふさわしい場 (A0194)
自分のテーマを見つけられる (A0062)
必要な資料に気づける・探せる
- ・ 児童生徒への直接的司書のスキルを活用する
読み聞かせやブックトーク、ストーリーテリング (A0079)
利用指導・探究型学習のサポート、レファレンス (A0064)



図書館を活用し、教員が効果的な指導をすることで、児童生徒の意欲・関心をひきだし、主体的な学びが可能となる。調べて終わりではない課題の出し方がポイント！

4. 学校図書館を活用することの意義・目的

- ・ 本を読む（聞く）こと自体に価値を見出す
- ・ 児童・生徒自身が読みたい本に出会えるチャンス
- ・ 読む力を育てる
- ・ 課題解決のために必要な知識・スキルを得る
- ・ 情報活用能力（問題解決能力）を育てる

教員と司書による指導・支援



系統だった指導
読みの支援と指導
適切な場面での利用指導
探究型学習の指導

5. 事例をアップすることの効果

- ・ 授業者と司書の授業の振り返り →校内コミュニケーションチャンス
- ・ 教材発掘・資料評価 →学校図書館・他館種へのコレクションの推薦
- ・ 実践の発表の場 →実践をまとめることで自身のスキルアップ（自治体の枠にしばられない）
→管理職へのアピール
→教員養成・司書教諭講習・司書養成での教材
- ・ 新たな実践のチャンス・ヒント・アイディア →生きてはたらく学校図書館像の普及

6. 「ユネスコ・国際図書館連盟共同学校図書館宣言」1999年11月26日 長倉美恵子・堀川照代訳

* 図書館員と教師が協力する場合に、児童生徒の識字、読書、学習、問題解決、情報およびコミュニケーション技術の各技能レベルが向上することが実証されている。

【前文】 学校図書館は今日の情報や知識を基盤と知る社会に相応しく生きていくために基本的な情報とアイデアを提供する。学校図書館は 児童生徒が責任ある市民として生活できるように生涯学習の技能を育成し、また、想像力を培う。